

人権教室教材一覧（小学校用）

小学生5，6年生向け

番号	内容項目	道徳的価値	カテゴリー	タイトル	時間	備考
1	C-18	国際理解，国際貢献	外国人差別・偏見	人種差別に立ち向かって	45分	冊子掲載
2	C-18	国際理解，国際貢献	外国人差別・偏見	外国人と人権～違いを認め，共に生きる～	45分	冊子掲載
3	B-7	思いやり，感謝	障害者	障害って何だろう？	45分	冊子掲載
4	B-11	相互理解，寛容	性的指向・性自認	はじめて学ぶLGBTs②好きになってはいけないの？	45分	冊子掲載
5	B-10	友情，信頼	いじめ	ありったけの勇気	45分	冊子掲載
6	A-3	節度，節制	インターネット	スマホ・ケータイ安全教室と連携した人権教室	45分	冊子掲載
7	C-18	国際理解，国際貢献	外国人差別・偏見	どうしたら分かり合えるの？	45分	
8	B-7	親切，思いやり	高齢者	小さな勇気	45分	
9	C-13	公正・公平・社会主義	人権一般	どうしたらみんなが幸せに暮らせるの？	45分	
10	B-7	親切，思いやり	障害者	共に生きるということ	45分	
11	B-10	友情，信頼	いじめ	チームワーク	45分	
12	C-18	国際理解，国際貢献	外国人差別・偏見	「世界の子ども会議」に参加して	45分	
13	B-7	親切，思いやり	障害者	父の目になるために	45分	

番号	1080204003	対象年齢層 (学年)	小学校5, 6年生
カテゴリ1 (大分類)	外国人	カテゴリ2 (小分類)	偏見, 差別的取扱い
タイトル	人種差別に立ち向かって (ネルソン・マンデラ氏の生き方)		難易度 上級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型, 島型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人権感覚や人権意識を養う ・自己, 他者を理解し, 互いに尊重し合う ・差別や偏見をもつことなく, 公正・公平に接する態度を養う 		
教材の 内容	<p>自由で民主的な社会を目指し, 約27年間の投獄生活を送りながらも, 白人による支配にも黒人による支配にもよらない社会を目指した南アフリカ共和国元大統領のネルソン・マンデラ氏。ネルソン・マンデラ氏の生き方を通して, 相互に理解し尊重し合うこと, 他人に対する思いやりの心を深めること, 誰に対しても, 差別することや偏見を持つことなく, 公正・公平な態度で接し, いじめのない学校, 正義の実現を図る。</p>		
備考	<p>使用教材: ネルソン・マンデラ氏の写真, 年表, アフリカ大陸と南アフリカ共和国の図, ワークシート 使用物品: 黒板 (ホワイトボード), SOSミニレター</p> <p>(引用: ネルソン・マンデラ自由へのたたかい, ネルソン・マンデラ 愛と勇気をあたえた人びと②)</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（差別，偏見）について 	
展開	4分	展開① 人物について学ぶ	ネルソン・マンデラ氏の写真を示し，経歴等を簡単に紹介する。 ※写真，アフリカの地図を使用	
	10分	展開② 生き方について学ぶ	ネルソン・マンデラ氏の生き方について，読み聞かせする。 ※年表を活用	
	10分	内容の振り返り① (意見交換)	グループに分かれ，ネルソン・マンデラ氏の生き方について，自分自身が感じたことや考えたことを話し合う。	
	10分	内容の振り返り② (発表)	ネルソン・マンデラ氏の生き方について，グループ単位で話し合った結果を各グループの代表者からそれぞれ発表してもらう。	
まとめ	6分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・ 相互に理解し尊重し合うこと ・ 他人に対する思いやりの心を深めること ・ 誰に対しても差別したり，偏見を持ったりしないこと ・ 誰に対しても公正・公平な態度で接すること ・ いじめのない学校，正義の実現を図ること <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「子どもの人権110番」，「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1080204020	対象年齢層 (学年)	小学校5, 6年生
カテゴリ1 (大分類)	外国人	カテゴリ2 (小分類)	偏見, 差別的取扱い
タイトル	外国人と人権～違いを認め, 共に生きる～	難易度	中級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型, 島型		
ねらい	外国人に対する偏見や差別をなくし, 多様性を認め, 人が人を大切にする人権尊重の社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのか学ぶ。		
教材の 内容	住宅街のごみ集積所で, 地域の住民が, 2か月前に越してきた外国人の家族についてうわさをしている。ごみ出しのルールや, 夜の大声などの問題で迷惑になっているというのがその内容だ。住民は大家に苦情を言いに行く。しかし, 実際に会って話をすることで, 誤解が解け, 少しずつ外国人一家と地域住民は打ち解けていく。		
備考	使用教材: DVD「外国人と人権～違いを認め, 共に生きる～」(家庭, 地域で見られる偏見や差別), ワークシート 使用物品: テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン, プロジェクター及びスクリーン), 黒板(ホワイトボード), SOSモニター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	7分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（外国人差別，偏見）について 	
展開	8分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「外国人と人権～違いを認め，共に生きる～」(家庭，地域で見られる偏見や差別) を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	7分	内容の振り返り① (記入)	<p>外国と日本の文化の違いや登場人物の心情を考えるために，ワークシートを配布し，記入してもらう。</p>	
	15分	内容の振り返り② (意見交換)	<p>グループに分かれ，ワークシートの問いに関して，自分が考えた意見を話し合う。</p> <p>その後，グループの代表者に発表してもらう。</p>	
まとめ	8分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・ 「外国人だから」と決めつけない ・ お互いを理解し，尊重する ・ 互いの違いを認めて大切にする <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「子どもの人権110番」，「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1050104113	対象年齢層 (学年)	小学校5, 6年生
カテゴリ1 (大分類)	障害のある人	カテゴリ2 (小分類)	障害のある人一般
タイトル	障害って何だろう？	難易度	中級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	私たちが普段よく耳にする「障害」という言葉について改めて考え、障害のある人を含めた全ての人々にとって住みよい社会とは何であるかについての気づきと理解を深める。		
教材の内容	<p>車椅子バスケットで活躍しているパラリンピアン根木慎志さんが、中学校の体育館で講演を行う。根木さんは、ユーモアのある語り口で参加者である中学生との距離を縮めるとともに、難しいスリーポイントシュートを披露した後、生徒たちと一緒に車椅子バスケットの試合を行う。</p> <p>生徒達は車椅子を操作しながらボールを扱う難しさを実感するとともに、車椅子を巧みに操作してシュートを決める根木さんをすごいと感じる。</p> <p>試合後、根木さんは生徒たちに、「車椅子バスケットが一番上手だった自分に障害があると思うか。」と問いかけ、生徒たちは「ない」と答える。</p> <p>次に、根木さんは生徒たちに、「ここを出て教室に行くためにみんなは階段を上り下りするけれども、僕にはできません。僕が教室に行くために困ってしまう障害とは何だと思うか。」と問いかけ、生徒たちは「階段」と答える。</p> <p>根木さんは、「「障害」とは自分たち障害者にあるのではなく、階段のように社会が作り出しているものであり、社会の努力でなくすことができる。」と説明する。生徒たちは、皆で手伝えれば根木さんも教室にも行けること、障害がなくなることを理解する。</p> <p>私たちの身の回りにある障害として、出入り口の段差、点字ブロックをふさぐように置かれた自転車、障害者用の駐車スペースに駐車する健常者、盲動犬の同伴を受け入れてくれないお店を例にあげ、障害者にとっての障害とは何かを問いかける。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「障害って何だろう？」、バリアフリー及びユニバーサルデザインを記載した掲示用紙及び配付資料</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、黒板(ホワイトボード)、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（障害）について (5) 身近にあるバリアフリー，ユニバーサルデザインについて 	
展開	5分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「障害って何だろう？」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	25分	内容の振り返り	<p>障害のある人にとっての「障害（バリア）」とは何かについて理解し，これらを解消するにはどうすればよいかを考えることで，人権感覚を育むために，下記のような発問をする。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根木さんの話を聞いて，「障害」とは何だと思うか？ ・「施設の入り口に段差があって車椅子の方は施設に入れない。」 「点字ブロックの上に自転車が停まっていて視覚障害者が通れない。」 「障害者用の駐車場に健常者が車を停める。」 「盲導犬を連れた視覚障害者がお店に入るのを断られる。」 <p>といった障害のある人にとっての4つの障害（バリア）を解消するためには，どうしたらよいか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人は普段の生活の中でどのようなことに困っているでしょうか？ 	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 バリアフリー，ユニバーサルデザインに関する資料を配付し，内容をまとめる。 ・困っている人がいたら手をかしてあげる気持ちは，思いやりの気持ちである ・「人権」はお互いのことを大切にすること，思いやりの心によって守られていく ・困っている人がいたら手を貸してあげようという相手を思いやる気持ちが「人権の尊重」であることを伝える ◆ 「子どもの人権110番」，「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1150105080	対象年齢層 (学年)	小学校5, 6年生
カテゴリ1 (大分類)	性的指向・性自認	カテゴリ2 (小分類)	性的指向・性自認一般
タイトル	はじめて学ぶLGBTs ②好きになってはいけないの？	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型, 島型		
ねらい	多様な恋愛観を肯定的に捉え, 性的指向についての認識を持つことで, 性的少数者に対する偏見や差別的な考えを見直す。		
教材の内容	<p>主人公のさなは幼馴染で親友のはるかに対して親友以上の特別な感情を抱くようになります。さなははるかに対する特別な感情に戸惑い, 好きになってしまったのではないかと悩みます。さなは東京へ転居することになりはるかとお別れすることになりますが, はるかに対して最後まで自分の気持ちを打ち明けられませんでした。</p> <p>時が経ちさなは大人になり, はるかと過ごした時間は子どもの頃の思い出になりましたが, 今は同性のパートナーがいます。</p>		
備考	<p>使用教材: DVD「はじめて学ぶLGBTs ②好きになってはいけないの?」, ワークシート 使用物品: テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン, プロジェクター及びスクリーン), SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	7分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（性的指向・性自認, L G B T s）について 	
展開	20分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「はじめて学ぶL G B T s ②好きになってはいけないの?」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がないか確認する。プロジェクターの操作等, 担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	5分	内容の振り返り① (記入)	<p>性的少数者に対する偏見や差別的な考えを見直すために, ワークシートを配布し, 各自の考えを記入してもらう。</p> <p>〈ワークシートの内容例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公のさなが, 親友のはるかに対して親友以上の特別な感情を持ったことに悩んだのは何故か。 ・L G B T に対してどのように思うか。同性愛はいけないことなのか。 ・L G B T を侮辱したり差別したりする発言や行動を見たこともしくは行ったことはないか。 ・L G B T の人とどう関わるか。 	
	15分	内容の振り返り① (意見交換)	<p>周りとは意見交換することで思考を深めるため, グループに分かれ, 話し合いと発表をしてもらう。</p> <p>※オネエ, ホモ, おかま, おなべなどの不規則発言が出た場合は放置せずに, 人を傷つけるような言い方をしてはいけないことを講師は注意する。また, 当事者生徒の存在に留意する。</p>	
まとめ	3分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 性的指向の多様性を知り, 誰もが自分の性について誇りを持ちありのままの自分として生きる権利があることを伝える。 ◆ 「子どもの人権 1 1 0 番」, 「S O S ミニレター」の紹介 	

番号	1030204002	対象年齢層 (学年)	小学校5, 6年生
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	ありったけの勇氣	難易度	中級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型, 椅子なし型		
ねらい	友達との関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ, いじめをなくすためにお互いに認め合い, 本音で話せる関係づくりなど, いじめに立ち向かう勇氣の大切さを伝える。		
教材の 内容	<p>小学5年生のクラスメート, 直子, 真由美, 美紀, 千恵子たち。クラス対抗のドッジボール大会に向けての練習で, リーダー的存在の千恵子は, 運動が苦手な美紀に負けてしまう。それをきっかけに, 千恵子の美紀に対するいじめが始まる。靴を隠したり, ドッジボールの特訓をさせたり。それを見ていた真由美は助けに入り, 千恵子らに立ち向かう。一方, 直子は見ているだけで一歩踏み出す勇氣がなかった。</p> <p>やがて, いじめは真由美に向けられるが, 真由美は親友の直子を巻き込まないように, みんなと距離を置いて一人で無言を貫く。直子は真由美を助けたいがどうすればいいかわからない。しかし, 美紀と相談を重ね, 先生や両親のアドバイスもあって少しずつ元気と勇氣を取り戻していく。</p> <p>その後, いじめが直子にも及ぶが直子は真由美や美紀からの勇氣を集め3人分のありったけの勇氣でいじめに立ち向かう決心をする。試合前の教室でみんなに「『いじめる グループ』が無くならないなら, 『いじめないグループ』を作りたいと思います。」と提案し, みんなが拍手で賛同した。</p> <p>千恵子は言い訳をするが, 真由美たちの「いじめてるつもりが無くても, 相手がいじめられてると思ったらそれはいじめや。」の言葉にがっかりする。だが, 直子たちはそんな千恵子を励まし, みんなで試合へと向かった・・・。</p>		
備考	使用教材: DVD「ありったけの勇氣」 使用物品: テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン, プロジェクター及びスクリーン), 黒板(ホワイトボード), SOSモニター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	4分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（いじめ）について (5) 「学校のいじめ」と「いじめ防止対策推進法」の関連を説明 	
展開	27分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「ありったけの勇氣」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がないか確認する。プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	9分	内容の振り返り	<p>登場人物の気持ちを考え，テーマ（なぜいじめが起きるか）に対する理解を深めるため，下記のような発問をする。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめを受けた「美紀」「真由美」の気持ちは？ ・なぜ「真由美」は誰にも相談しないのか？ ・いじめを見ている「直子」を考える ・なぜ「千恵子」はいじめを始めたのか？ <p>※板書作業を並行で行う。</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 いじめについて共有し，意識や行動につなげる。 ・ いじめの定義 ・ いじめの防止策 ・ 相手の気持ちを考えること <p>◆ 「子どもの人権 110番」，「SOSミニレター」の紹介</p>	

番号	1120104037	対象年齢層 (学年)	小学校5, 6年生
カテゴリ1 (大分類)	インターネットによる人権侵害	カテゴリ2 (小分類)	インターネットによる人権侵害一般
タイトル	スマホ・ケータイ安全教室と連携した人権教室	難易度	中級
時間	45分	対象人数 の目安	2学級80人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型, 椅子なし型		
ねらい	株式会社NTTドコモ実施のスマホ・ケータイ安全教室と連携し, スマートフォン・携帯電話を使用する場面で起こり得る身近なトラブルについての気づき, 安全に使うためにはルールとマナーを守ることが必要であることをアニメーションまたはスライドを使用して説明する。また, インターネットやSNS上で人権侵害をしないように呼びかけ, 人権侵害をされた際の解決方法について紹介する。		
教材の 内容	①株式会社NTTドコモ実施 スライドやアニメーションによるスマホ・ケータイ安全教室(35分) ②法務局実施 SNSでのいじめ等に関する講話(10分)		
備考	使用教材: スライドデータ 使用物品: 投影用機材, スクリーン(大型テレビ), PC用スピーカー, マイク, アンプ, SOSミニレター		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	スマホ・ケータイ安全教室の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶（自己紹介，本日の進め方について） ・スマホ，携帯の主な使用場面について 	
展開	5分	〈SNSについて〉 情報を公開するときに 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> ◆SNS (Twitter, Instagram, Facebook等) について <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報を載せることの危険性 ・自分の写真や友だちの写真を載せることや，書く内容による危険性 ・イタズラ動画 〈まとめ〉情報を公開するときに気をつけること 	
	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメーションによって事例を紹介 ・内容のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆インターネットやSNSで知り合った人とのやりとりについて，気をつけること ～アニメーション：相手はどんな人？ 視聴（1分37秒）～ ・インターネットで知り合った人に会う危険性 ・身近にある危険性について具体例を示し，自分だったらどうするか考えてもらう 〈まとめ〉ネットで知り合った人とのやりとりで気をつけること 	
	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・再現ドラマの上映 ・内容のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆コミュニケーションアプリ (LINE等) について <ul style="list-style-type: none"> ・文字だけのやりとりの具体的な事例を示し，自分だったらを考えさせる ～再現ドラマ：生まれた誤解 視聴（4分4秒）～ 〈まとめ〉文字だけのやりとりで気をつけること 	
	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメーションを視聴 ・内容のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆使いすぎに気をつけよう ～アニメーション：夢中になって大丈夫？ 視聴（1分37秒） ・正しい使い方について 〈まとめ〉使いすぎに気をつけるために 	
	5分	スマホ・ケータイ安全教室のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆インターネット上の様々な危険から身を守る為の方法の紹介 ◆ルールやマナーを守って使う大切さについて <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインゲームなどのアイテム購入のトラブル ・歩きスマホ，ながらケータイに関する事故やトラブル ◆スマホやケータイを使うときに覚えておいてほしいこと 	
まとめ	10分	法務局による講話	<p>【法務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆スマートフォンや携帯電話を使っていて困ったことがあったときの解決方法 ◆法務局の相談窓口（電話相談，インターネット相談）の紹介 	

番号	1080104115	対象年齢層 (学年)	小学校5, 6年生
カテゴリ1 (大分類)	外国人	カテゴリ2 (小分類)	外国人一般
タイトル	どうしたら分かり合えるの？	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	講義型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・世界人権宣言を掲示し、人権についての意識を高めるとともに、その意味と価値を心に刻んで、外国人の人権についても、理解を深める。 ・異なる言語・文化・生活様式を持つ外国人との違いを認め合い、尊重し、互いに助け合う多文化共生を培うために大切なことを認識する。 		
教材の 内容	<p>主人公の男の子の家は、旅館を営んでいます。はじめは、外国人客をお断りしていましたが、近年、外国人観光客の増加に伴い、反対する祖父母を父親がなんとか説得し、受け入れるようになりましたが、受け入れをはじめてから様々な問題が起こりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夕食にまったく手をつけない外国人客 ・入れ墨やお風呂の入り方で、日本人客からクレームが増える外国人客 <p>とはいえ、外国人観光客が訪れる事により、旅館も、周辺の飲食店も、賑わいを見せています。祖母は、その環境の変化に不安を感じています。</p> <p>男の子のクラスに外国人のクラスメイトがいますが、言葉の問題があって、孤立しがちです。男の子は素直な性格なので、こだわりがなく外国人客やクラスメイトに片言でも声をかけ、コミュニケーションがとれるようになりました。</p> <p>はじめから、外国人客に対して不安を抱いていた祖父母は、心から外国人客を受け入れられないようです。</p> <p>男の子は、どうしたら分かりあえるの？と問いかけます。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「どうしたら、分かり合えるの？」</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (または、プロジェクター及びスクリーン) , 世界人権宣言第一章を書いた模造紙</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに (1)始まりの挨拶 (2)人権擁護委員及び活動の紹介 (3)「人権」について簡単なお話 (4)本日のテーマについて ・世界人権宣言について 	
展開	10分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「どうしたら、分かり合えるの?」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	20分	内容の振り返り	<p>グループに分かれ、訪日外国人・在日外国人が困ることは何か考え、意見交換し、下記のような発問をし、発表してもらう。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べてはいけない食材や料理があり、夕食にまったく手をつけない外国人のシーンを観てどんな風に思いましたか？ ・お風呂の入り方を知らない外国人のシーンを観てどんな風に思いましたか？ 	
まとめ	10分	本日のまとめ	<p>◆本日の内容の総論</p> <p>すべての人は違った存在であり、違っているからこそかけがえないのであり、共に幸せに暮らすために、すべての人の人権を保障する、世界人権宣言はいつも意識し、行動することの大切さ。</p>	

番号	1040104118	対象年齢層 (学年)	小学校5, 6年生	
カテゴリ1 (大分類)	高齢者	カテゴリ2 (小分類)	高齢者一般	
タイトル	小さな勇気		難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度	
学習形態 (教室の設定)	教室型			
ねらい	<p>「高齢者をいたわる心」を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で、高齢者に対して優しさを持って接することの大切さを知る。 ・困っている人を見たときに、言葉をかける勇気を持つ。 			
教材の 内容	<p>駅の改札やホームに降りる階段で、杖をついたおばあさんが困っていたが、「ぼく」は声を掛けることもなく傍観していた。その後、電車の中で座席に座っていると、同じ車両におばあさんが乗ってきたが、空いている席はもうない。「ぼく」は席をゆずらなきゃと思ったものの、どうしても体が動かない。決心して立ち上がろうとしたその時、前に座っていた女の人が「どうぞ！」と席を立ちあがり、おばあさんに席をゆずる。「ぼく」はホッと、今度こそ勇気を出して席をゆずろうと決心する。同時に、改札口や階段での出来事を思い出し、今までのぼくとは違う気持ちで心の中にわき上がってきた。</p> <p>巻頭メッセージ「種をまこう」では、「種」をまき水・栄養をそそぎ、陽の光をあびることによって花を咲かせるという一連の行為から、人権尊重思想を身につけることを示している。</p>			
備考	<p>使用教材：冊子「種をまこう」 使用物品：SOSミニレター</p>			

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマについて</p>	
展開	10分	展開①	<p>冊子巻頭メッセージ「種をまこう」を朗読する。</p> <p>思考を深めるために、人権を守る、尊重するとはどういうことか考えてもらう。</p>	
	10分	展開②	<p>「小さな勇気」を朗読する。</p>	
	15分	展開②の振り返り	<p>登場人物の気持ちを考えながら場面を振り返り、さらに他者の意見から気づきを深めるために、意見交換をする。</p> <p>〈意見交換例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅の改札やホームに降りる階段でおばあさんが困っていた場面について ・「ぼく」が電車に乗って座席に座った後に、おばあさんが電車に乗ってきたが空いている席が無かった場面について 	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・ 日常生活の中で、高齢者に対して優しさをもって接することの大切さ ・ 困っている人を見かけたときに、言葉をかける勇気をもつこと ◆ 「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1010104111	対象年齢層 (学年)	小学校5, 6年生
カテゴリ1 (大分類)	人権全般	カテゴリ2 (小分類)	人権一般
タイトル	どうしたらみんなが幸せに暮らせるの？	難易度	初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	多様な価値観を認め、柔軟な発想で「人権」について考えてみることで、人権感覚や人権意識を養う。		
教材の内容	<p>小学校高学年の女の子とその家族を通して、日常生活の中で人権にかかわるエピソードを紹介する。</p> <p>①女の子の友達にお父さんがケーキを振る舞うと、「女の人みたいで変ね」と言われてしまう。</p> <p>②おじいちゃんは、あちこち出かけて取ってきた写真をブログにアップしていますが、近所では「年を取ったら家でゆっくりしているのが普通」と言われ変わった人と思われています。</p> <p>③おばあちゃんは、最近、車いすで生活しているが、今度、家族みんなで温泉に行くことを近所の友達に話したら「車いすなのに温泉旅行に出かけるなんてわがままで」と言われてしまいます。</p> <p>④弟は、最近学校の友達に一人だけ意見が違うから変だ、空気読めよと言われてしまいました。</p> <p>女の子は、みんなが幸せに暮らすためには、どうしたらいいのか問いかけます。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「ワークショップをやってみよう」</p> <p>使用物品：人権標語の用紙, SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマについて</p>	
展開	5分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「どうしたらみんなが幸せに暮らせるの？」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	15分	内容の振り返り	<p>登場人物の気持ちなどを考え，思考を深めてもらうために，下記のような発問をし，何名かの生徒に発表してもらう。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お父さんがお友達にケーキを出したら「女の人みたいで変ね」と言われたことについて，みなさんどう思いましたか？ ・「年をとったら，家でゆっくりしているのが普通」と言われて変わり者と思われていることについて，みなさんどう思いましたか？ 	
	15分	展開	<p>「人権」について理解が深まってきたところで，さらに思考を深めてもらうために，グループで話し合い，人権標語を作り各グループに発表してもらう。</p> <p>〈標語例〉</p> <p>「みんなが幸せに暮らすためには，どうしたらいいのかしら？」</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 他人を思いやり，人権意識を持った健全なこころを養う。 ◆ 「子どもの人権110番」，「SOSモニター」の紹介 	

番号	1050104009	対象年齢層 (学年)	小学校5, 6年生
----	------------	---------------	-----------

カテゴリ1 (大分類)	障害のある人	カテゴリ2 (小分類)	障害のある人一般	
タイトル	共に生きるということ		難易度	中級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度	
学習形態 (教室の設定)	①教室型 ②椅子なし型			
ねらい	<p>・障害がある人をはじめ，日常生活において「バリア（障壁）」を感じている人の身になって考えることの重要性を知ること。</p> <p>・バリアを感じている人の意思を尊重しながら，必要な手助けをすることの重要性を知ること。</p>			
教材の内容	<p>主人公が，人権学習の講師として来た視覚障害のある「小林さん」の言葉を聞くことで，自分が今まで持っていた「障害のある人＝弱者」という考え方が変わっていくとともに，それぞれの障害に応じた本当に必要なサポートをして，社会はいろいろな個性を持った人の集まりだという認識の下で共に生きていくことが重要だと気づく過程を描く。</p>			
備考	<p>使用教材：DVD「わたしたちが伝えたい，大切なこと」中の「共に生きるということ」，障害のある人 に関わる絵5点，副教材絵①～⑤ 使用物品：黒板又はホワイトボード，SOSミニレター</p>			

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	7分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマ（障害）について</p>	
展開	8分	人権啓発DVD鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD「共に生きるということ」を上映する。 <p>※観にくい生徒がいないか確認する。 プロジェクターの操作等，担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	10分	内容の振り返り①	<p>DVDを視聴しての感想や，登場人物の気持ちなどを考え，下記のような発問をし，何人かの生徒に発表してもらう。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小林さん」から学んだこと。 ・障害のある人たちは訓練をして何でもできるようにしています。わたしたちはどうしたらよいか考える。 	
	15分	内容の振り返り②	<p>障害のある人が展示ブロックの上に自転車が置かれて困っている場面の絵を掲示し，絵について思ったことや考えたことを何名かの生徒に発表してもらう。</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・ 「障害者＝弱者」ではないことへの気づき ・ 障害がある人の立場や意思を尊重した手助けをすることの重要性への気づき ・ 心のバリアフリーについて <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「子どもの人権110番」，「SOSミニレター」の紹介 	

番号	1030204025	対象年齢層 (学年)	小学校5, 6年生	
カテゴリ1 (大分類)	子ども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ	
タイトル	チームワーク		難易度	中級
時間	45分	対象人数 の目安	学級40人程度	
学習形態 (教室の設定)	教室型 椅子なし型			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 相手の気持ちになり、いじめのない学級，学校作りに努める姿勢を持たせる。 いじめを見て見ぬふりをせず，相手を思いやる心を養う。 仲間作りの大切さ，相互信頼の大切さに気づかせる。 			
教材の 内容	<p>達夫は，ジュニア野球クラブの準エースだったが，最近は成長が著しく，今年は達夫がエースだとクラブ内で噂をされていた。それを快く思わないエースの飯田が，達夫に対して「おまえは補欠だ！練習しなくてもいい。」，「調子がいいからってテングになるなよ。」などと怒鳴り，チームメイトの岩山たちも一緒になってはやしたてた。</p> <p>練習を休むようになった達夫を心配したキャプテン山本は，チームメイトに理由を聞いたが，皆下を向いて答えない。理由に心当たりがあった山本は達夫の家に行った。そして，達夫から野球をやめようと思っていることを聞き，その足で監督の家へ相談に向かった。</p> <p>次の日，監督は全員で紅白試合をさせ，飯田と達夫に投げさせ，飯田は圧倒的に打たれた。監督は飯田を呼び寄せ，お互いを信頼する心，チームワークの大切さを説く。飯田は反省し，岩山たちといっしょに達夫に謝り，達夫も練習に復帰した。その後チームは圧倒的強さで5度目の優勝を果たした。</p>			
備考	<p>使用教材：冊子「種をまこう」</p> <p>使用物品：黒板又はホワイトボード，児童に配布する啓発物品（人数分），SOSミニレター</p>			

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマ（いじめ）について</p>	
展開	10分	文章教材の朗読又は演じる	<p>「チームワーク」を朗読をする。</p> <p>※ロールプレイ型の場合は、配役を決め、前に出て演じてもらう。</p>	
	15分	内容の振り返り①	<p>それぞれの気持ちについて話し合い、下記のような発問をし、何名かの生徒に発表してもらう。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公の達夫君は、どうして練習を休んじゃったのでしょうか？ ・嫌なことを言われている友だちがいたときに、まわりのチームメイトの行動はどうでしたか？ <p>ロールプレイ型の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が演じた役はどうでしたか？ 	
	10分	内容の振り返り②	<p>思考を深めてもらうために、今回の話は何を言いたかったのか考え、何人かの生徒に発表してもらう。</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・ お互いを認め合う心、相互信頼の大切さ ・ 同じ目標に向かって力を合わせる大切さ ・ 困ったことがあったときには、人に相談することの大切さ <p>◆ 「子どもの人権 1 1 0 番」、 「SOSミニレター」の紹介</p>	

番号	1080404014	対象年齢層 (学年)	小学校5, 6 学年
カテゴリ1 (大分類)	外国人	カテゴリ2 (小分類)	その他 (多文化共生)
タイトル	「世界の子ども会議」に参加して		難易度 上級
時間	4 5 分	対象人数 の目安	学級 3 0 ~ 4 0 人
学習形態 (教室の設定)	①教室型 ②椅子なし型		
ねらい	多文化共生が叫ばれる昨今, 児童に「違いを認め, 共に生きる」ことの大切さを理解し, 設問を通じて, 児童に思考力・判断力・表現力等を育成する。		
教材の 内容	世界の子ども会議に参加し, テーマに基づいて会議を行うのであるが, 出席した日本の女生徒は議長に意見を求められたにも関わらず, ただ下を向いて黙っているばかりであった。そこへ同じ出席者のブラジルの子どもがその女生徒に助け船をだした。 その女生徒は過去にクラスにベトナムの子どもが転校した時を思い出して心の葛藤を抱いたが, 今回の会議でブラジルの子どもが助け船を出してきたことで, 自己の意思を伝える決心をし, 勇気を出して立ち上がった。		
備考	①教材「世界の子ども会議」に参加して ②ワークシート ③黒板もしくはホワイトボード		

過程	時間		学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	導入準備	挨拶と人権擁護委員の紹介（自己紹介） ・人権擁護委員の活動 ・本日の進め方について説明	
展開	20分	教材各自黙読 ワークシートへの記入	・教材を配布し各人に読んでもらう。 ・ワークシートの配布を行う。 ・ワークシートのなかの4つの設問に対して、各自感じたことを記入する。	
	15分	発表	何名かの児童に設問に対する回答を答えてもらう。	
まとめ	5分	講評	言葉や文化・生活習慣等が異なる外国の人に対して、偏見や差別意識を持つのではなく、理解しお互いに尊重する心が大切であることを伝える。	
その他				

番号	1050104089	対象年齢層 (学年)	小学校5, 6年生
カテゴリ1 (大分類)	障害のある人	カテゴリ2 (小分類)	障害のある人一般
タイトル	父の目になるために	難易度	初級
時間	4 5分	対象人数 の目安	学級40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが快適に暮らせるようお互いを思いやる心, 他人の役に立とうとする心の重さを考える。 ・日々の家庭生活が家族の支え合いで成り立っていることを知り, 家族一人一人が自分の役割をきちんと果たす大切さを考える。 		
教材の 内容	<p>5年前, 勤めていた工場の事故で視力を失ってしまった父。 退院したばかりの父は, 少しおこりっぽくなり, 妹が茶の間の絵本を片付けてなかったり, 私が母に頼まれた手伝いをすぐやらなかったりすると大きな声で注意することが増えた。 そんな父の態度がおもしろくない私に, 母は「お父さんは, 目が見えなくなってから, 聴くこと, 手でさわることなどが頼りにしているのよ。それに, 他の人の言葉づかいや調子でその人の気持ちまでよく分かってしまうのよ。」とやさしく教えてくれた。 母も, 父の目になるために努力をしていたのだ。 それから, 私と妹は相談して, 父が何でもすぐわかるように物の整理整頓を心がけ, 言葉づかいにも気をつけるようになった。 私たちを見えない目で気遣ってくれる大好きな父のために……。</p>		
備考	<p>使用教材: 冊子「種をまこう」, ワークシート 使用物品: SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	8分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマ（障害）について</p>	
展開	9分	教材朗読	巻頭「種をまこう」及び「父の目になる」を黙読又は朗読若しくは読み合わせ等	
	6分	内容の振り返り①	<p>ワークシートの下記のような設問に対して記入してもらおう。</p> <p>〈設問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私が父より早く挨拶しようと思った理由 ・退院した父の気持ち及び私が父に対し少し怒りっぽくなったと感じた理由 ・なぜ母は私にやさしく説明をしたのでしょうか。 ・母が父の目になるためにしていた努力とはどのようなことだったでしょう。 	
	18分	内容の振り返り②	<p>思考を深めてもらうために、グループで意見交換をし、各グループに発表してもらおう。</p> <p>〈意見交換例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私が父より早く挨拶しようと思った理由 ・退院した父の気持ち及び私が父に対し少し怒りっぽくなったと感じた理由 ・なぜ母は私にやさしく説明をしたのでしょうか。 ・母が父の目になるためにしていた努力とはどのようなことだったでしょう。 	
まとめ	4分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 お互いを理解し、思いやりのこころを持つことの大切さ ◆ 「子どもの人権110番」、「SOSミニレター」の紹介 	